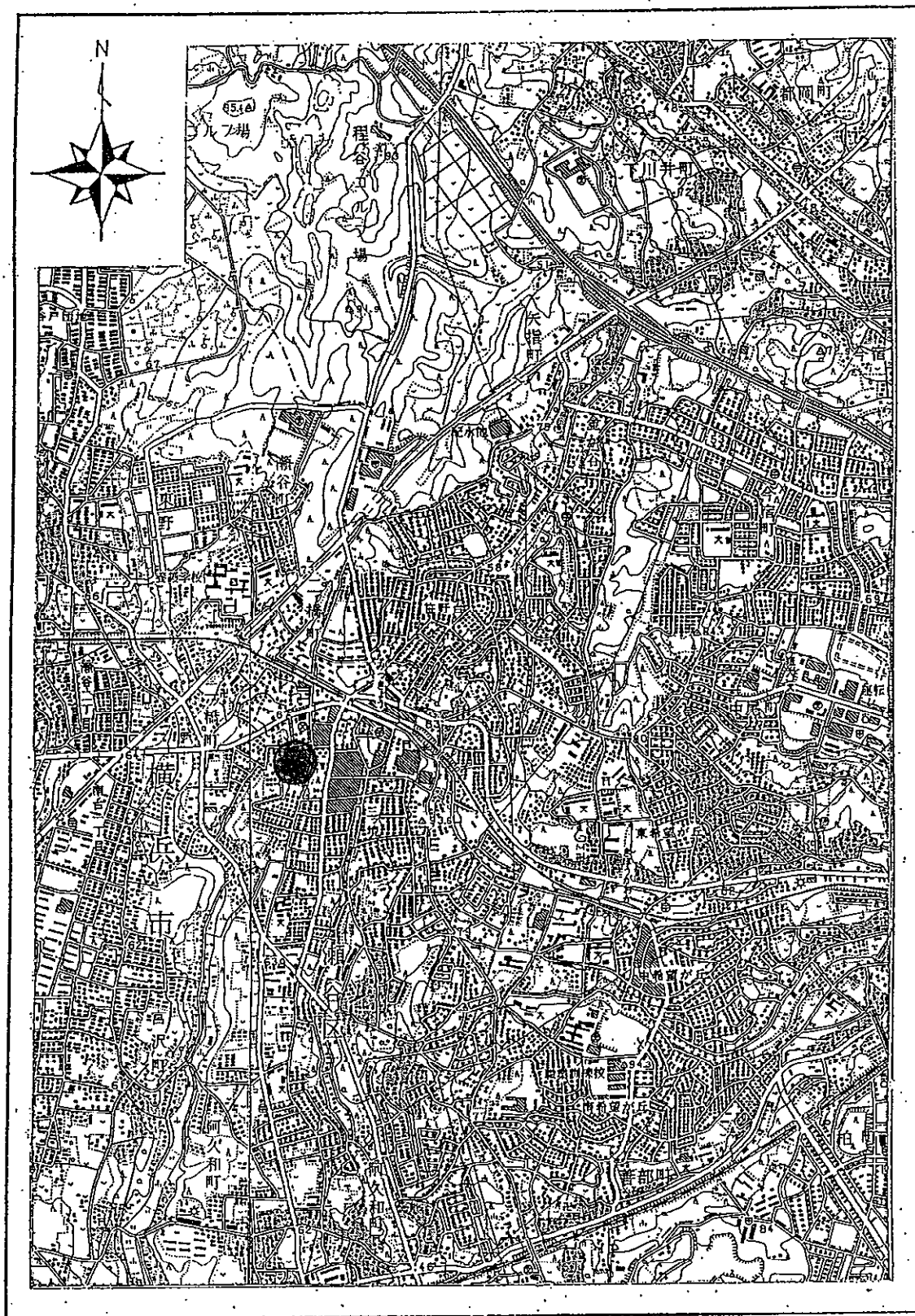


瀬谷区総合庁舎整備工事に伴う
土質調査業務委託（その2）

報 告 書

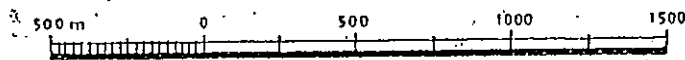
平成14年3月

横 浜 市 建 築 局



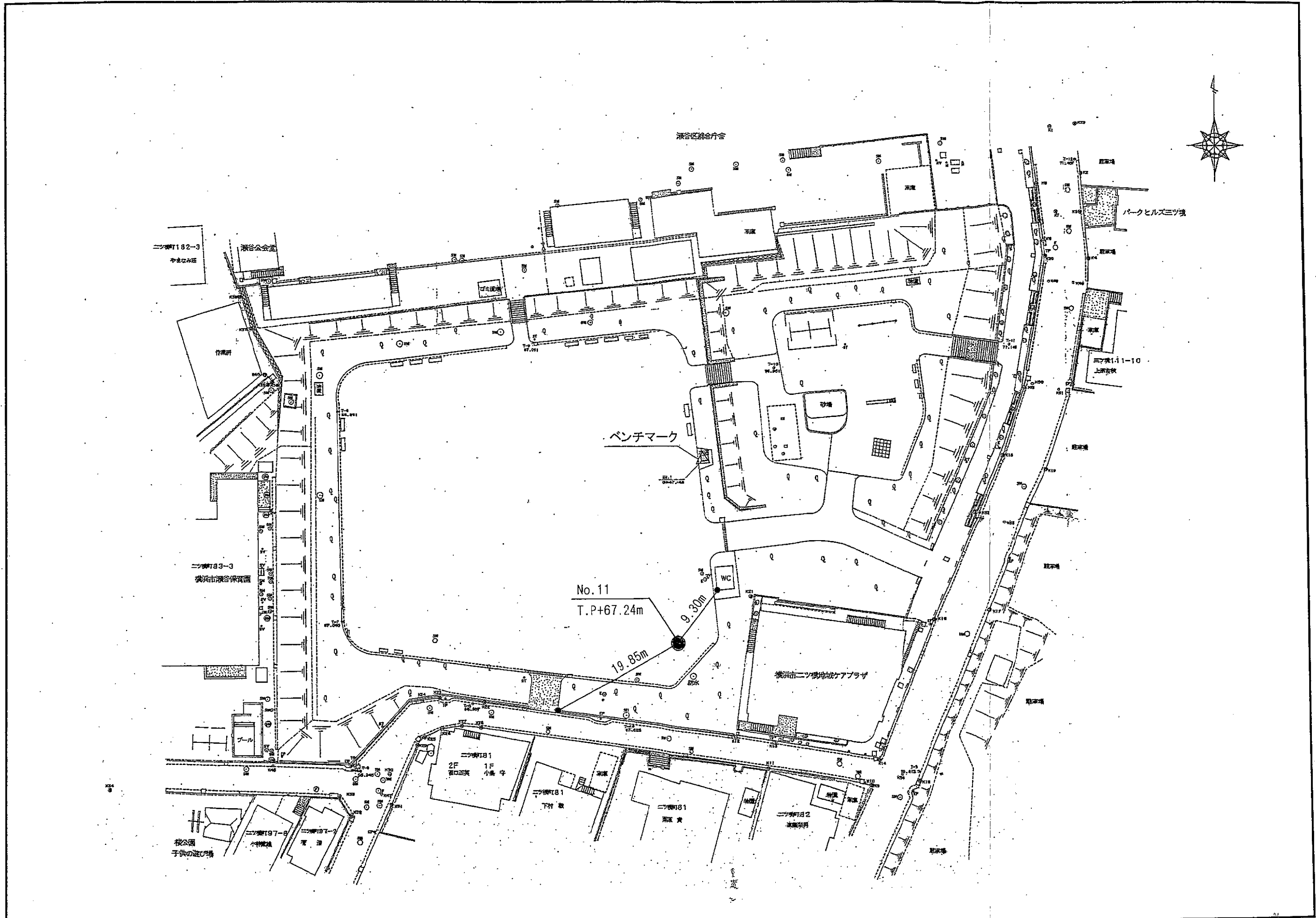
●..... 調査地

縮尺 1:25,000

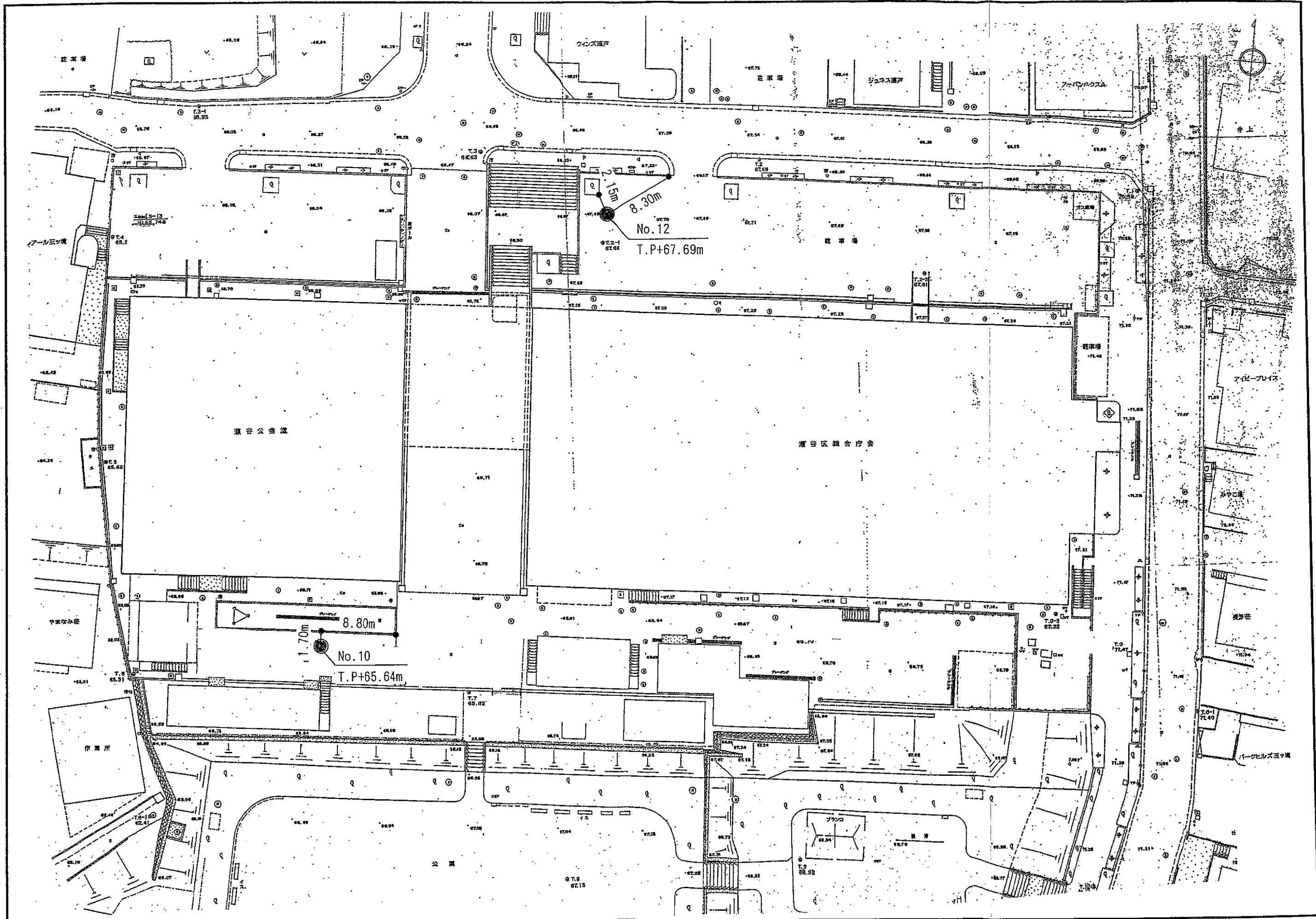


案内図

平 面 位 置 図



調査位置平面図(公園施設地域) S=1:500



調査位置平面図(庁舎施設地域) S=1:400

ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

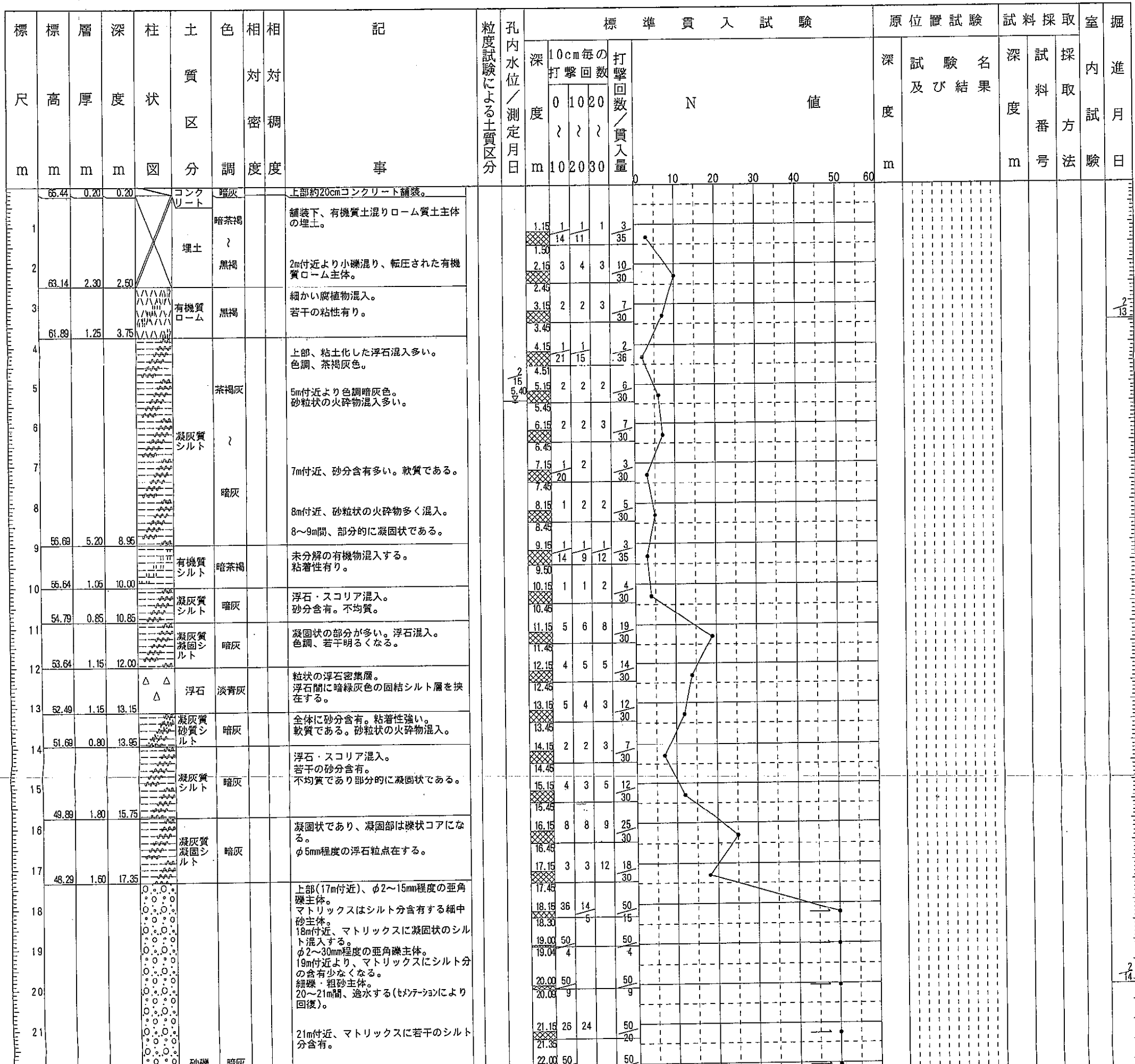
調査名 瀬谷区総合庁舎整備工事に伴う土質調査業務委託(その2)

ボーリングNo. 0000000000

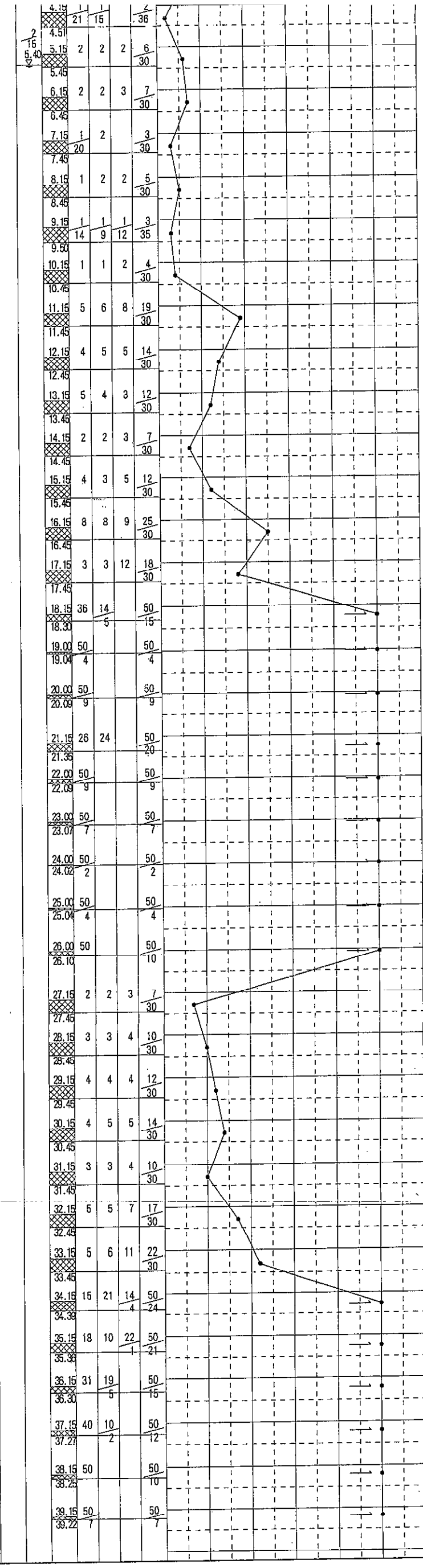
事業・工事名

シートNo. 1-1431-10

ボーリング名	No.10	調査位置	横浜市瀬谷区ニツ橋町190番	北緯	0° 0' "
発注機関	横浜市建築局 庁舎施設課	調査期間	平成14年 2月13日~平成14年 2月16日	東経	0° 0' "
調査業者名	(株)建設技術コンサルタント 電話 045-453-3241	主任技師	鴨井 裕司	現代理人	篠原 健二
孔口標高	T.P+ 65.64m	角	180° 上 90° 下 0°	コ 鑑 定 者	小島 温
総掘進長	39.22m	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	ボーリング責任者	高田 誉
		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	試錐機	東邦D0-D100A
		使用機種		エンジン	ヤンマーNFD10
				落下用具	トンビ
				ポンプ	カノ V6



4				上部、粘土化した浮石混入多い。 色調、茶褐色。
5				5m付近より色調暗灰色。 砂粒状の火砕物混入多い。
6				凝灰質シルト
7				暗灰
8				7m付近、砂分含有多い。軟質である。 8m付近、砂粒状の火砕物多く混入。 8~9m間、部分的に凝固状である。
9	56.69	5.20	8.95	有機質シルト
10	55.64	1.05	10.00	暗茶褐色
11	54.79	0.85	10.85	凝灰質シルト
12	53.64	1.15	12.00	暗灰
13	52.49	1.15	13.15	凝灰質凝固シルト
14	51.69	0.80	13.95	暗灰
15	49.89	1.80	15.75	凝灰質シルト
16				暗灰
17	48.29	1.60	17.35	凝灰質凝固シルト
18				暗灰
19				暗灰
20				暗灰
21				暗灰
22				暗灰
23				暗灰
24				暗灰
25				暗灰
26	39.34	8.95	26.30	砂礫
27				暗灰
28				暗灰
29				暗灰
30				暗灰
31	33.89	5.45	31.75	シルト
32				暗灰
33				暗灰
34	31.64	2.25	34.00	凝固シルト
35				暗灰
36	28.84	2.80	36.80	シルト混り細砂
37				暗灰
38				暗灰
39	26.42	2.42	39.22	泥岩
40				暗灰



ボーリング柱状図

調査名 瀬谷区総合庁舎整備工事に伴う土質調査業務委託(その2)

ボーリングNo. 0000000000

事業・工事名

シートNo. 1-1431-11

ボーリング名	No.11	調査位置	横浜市瀬谷区ニッ橋町190番	北緯	0° 0' "
発注機関	横浜市建築局 庁舎施設課	調査期間	平成12年 2月 5日~平成14年 2月 8日	東経	0° 0' "
調査業者名	(株)建設技術コンサルタント 電話 045-453-3241	主任技師	嶋井 裕司	現代理人	篠原 健二
孔口標高	T.P+ 67.24m	角	180° 上下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	28.00m	度	90°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
		使用機種	試錐機 エンジン	ハンマー 落下用具	ポンプ
				ボーリング 責任者	小島 温

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				N値	原位置試験		試料採取		掘進月日
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	度		深	試験名及び結果	深	採取方法	
1				埋土	暗茶褐			ほぼ均質なローム質土主体の埋土。所によりφ15~20mmの礫を混入している。		1.15	3	2	2	7					
2										1.45									
3					黒灰					2.15	3	2	3	8					
4	62.79	4.45	4.45							2.45									
5				ローム	茶褐			粘性やや強い。ほぼ均一なローム。所により凝団状を呈する。		3.15	4	5	5	14					
6	60.89	1.90	6.35							3.45									
7								10m付近迄、所々スコリア多く混入。粘性中位。		4.15	4	5	6	15					
8										4.45									
9										5.15	1	2	1	4					
10					暗灰			10m付近より粘性やや強い。		5.45									
11								11m付近より暗黄灰に色調変化。所により粗粒状の火砕物混入する。所により少量の浮石混入。		6.15	1	1	2	4					
12										6.45									
13										7.15	5	5	9	19					
14				凝灰質シルト				14m付近より暗褐灰に色調変化。部分的に凝団状を呈する。		7.45									
15										8.15	7	12	12	31					
16								16m付近、暗黄灰に色調変化。細かいスコリア・浮石やや多く混入。		8.45									
17										9.15	11	14	12	37					
18				凝灰質シルト						9.45									
19										10.15	3	4	12	19					
20					暗黄灰			20m付近、暗灰色に変化。細砂状・細礫状の浮石多く混入する。		10.45									
21										11.15	4	4	5	13					
22	44.74	16.15	22.50					22m付近より、粘性強い。		11.45									
23								φ15~30mmの亜角礫主体。最大φ60mm位。		12.15	9	9	11	29					
										12.45									
										13.15	8	10	10	28					
										13.45									
										14.15	8	10	9	27					
										14.45									
										15.15	9	9	10	28					
										15.45									
										16.15	6	7	8	21					
										16.45									
										17.15	7	6	7	20					
										17.45									
										18.15	2	3	4	9					
										18.45									
										19.15	4	4	5	13					
										19.45									
										20.15	4	5	8	17					
										20.45									
										21.15	7	5	6	18					
										21.45									
										22.15	4	6	10	20					
										22.45									
										23.15	9	29		50					
										23.45				20					

別紙12 土質調査報告書(抜粋)

ボーリング名	No.11		調査位置	横浜市瀬谷区二ツ橋町190番			北緯	0° 0' "	
発注機関	横浜市建築局 庁舎施設課			調査期間	平成12年 2月 5日~平成14年 2月 8日		東経	0° 0' "	
調査業者名	㈱建設技術コンサルタント 電話 045-453-3241		主任技師	嶋井 裕司		現代場人	篠原 健二		ボーリング責任者
コ 鑑 定 者	小島 温		使用機種	ハンマー落下用具		ポンプ			
孔口標高	T.P+ 67.24m		角	180° 上下 0°		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配
総掘進長	28.00m		度	90°		向	鉛直 90°		使用機種
									エンジン

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取		掘進
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	度		深	試験名及び結果	深	試料採取方法	
m	m	m	m	区	調	密	稠	事		m	0 10 20 30 40 50 60	m	m	番号	方	日			
1				埋土	暗茶褐			ほぼ均質なローム質土主体の埋土。所によりφ15~20mmの礫を混入している。		1.15 3 2 2 7/30									
2										1.45 3 2 3 8/30									
3					黒灰					2.15 3 2 3 8/30									
4	62.79	4.45	4.45							2.45 4 5 5 14/30									
5				ローム	茶褐			粘性やや強い。ほぼ均一なローム。所により凝団状を呈する。		3.45 4 5 6 15/30									
6	60.89	1.90	6.35							4.45 1 2 1 4/30									
7								10m付近迄、所々スコリア多く混入。粘性中位。		5.45 1 1 2 4/30									
8										6.15 1 1 2 4/30									
9								10m付近より粘性やや強い。		6.45 5 5 9 19/30									
10					暗灰					7.15 7 12 12 31/30									
11								11m付近より暗黄灰に色調変化。所により粗粒状の火砕物混入する。所により少量の浮石混入。		8.15 11 14 12 37/30									
12										8.45 3 4 12 19/30									
13								14m付近より暗黄灰に色調変化。部分的に凝団状を呈する。		9.15 4 4 5 13/30									
14				凝灰質シルト						9.45 9 9 11 29/30									
15								16m付近、暗黄灰に色調変化。細かいスコリア・浮石やや多く混入。		10.15 8 10 9 27/30									
16										10.45 8 10 9 27/30									
17				凝灰質シルト						11.15 9 9 10 28/30									
18								20m付近、暗灰色に変化。細砂状・細礫状の浮石多く混入する。		11.45 6 7 8 21/30									
19										12.15 7 6 7 20/30									
20					暗黄灰					12.45 2 3 4 9/30									
21								22m付近より、粘性強い。		13.15 4 4 5 13/30									
22	44.74	16.15	22.50							13.45 4 5 8 17/30									
23								φ15~30mmの垂角礫主体。最大φ60mm位。マトリックスは粗砂・細礫主体。		14.15 7 5 6 18/30									
24								24m付近迄、含水やや多い。24m以深、含水少位。		14.45 4 6 10 20/30									
25				砂礫	暗緑灰					15.15 21 29 50/20									
26										15.45 28 22 50/17									
27										16.15 5 5 15/10									
28	39.24	5.50	28.00							16.45 29 21 50/15									
29										17.15 32 18 50/12									
										17.45 2 2 12/0									

ボーリング柱状図

調査名 瀬谷区総合庁舎整備工事に伴う土質調査業務委託(その2)

ボーリングNo. 000000000000

事業・工事名

シートNo. 1-1431-12

ボーリング名	No.12		調査位置	横浜市瀬谷区ニッ橋町190番		北緯	0° 0' "	
発注機関	横浜市建築局 庁舎施設課		調査期間	平成14年 2月19日~平成14年 2月20日		東経	0° 0' "	
調査業者名	(株)建設技術コンサルタント 電話 045-453-3241		主任技師	鴨井 裕司		現代理人	篠原 健二	
コ鑑定者	小島 温		ボーリング責任者	高田 誉		ハンマー落下用具	トンビ	
孔口標高	T.P+ 67.69m		角			使用機種	東邦D0-D100A	
総掘進長	27.21m		方			エンジン	ヤンマー-NFD10	
度			地盤勾配	鉛直 90°		ポンプ	カノ V6	

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相対調	相対稠密度	相対稠密度	記	粒	孔	標準貫入試験				原	試	試	採	室	掘	
											度	度	度	度							位置
m	m	m	m					事	度	内	深	10	20	30	度	名	深	取	内	進	
									試験による土質区分	水位/測定月日	m	0	10	20	30	及び結果	m	番号	試験	日	
1	66.69	1.00	1.00	埋土	暗灰			上部7cmアスファルト舗装。舗装下、ローム質土主体。0.70m付近よりコンクリート塊混入。			1.15	2	2	3	7						
	65.94	0.75	1.75	有機質ローム	黒褐			細かい草根混入。転圧されている。			1.48	2	3	3	8						
2	64.74	1.20	2.95	ローム	茶褐			上部、凝固状である。全体に不均質。部分的に粘性有り。			2.15	2	3	3	8						
	64.74	1.20	2.95	粘土質ローム	茶褐			砂粒状の火砕物混入。上部、粘性有り。不均質であり、部分的に凝固状。4m付近、若干色調暗くなる。			2.45	2	1	1	4						
3	62.94	1.80	4.75	凝灰質固結シルト	暗茶褐			上部、色調茶褐灰色。全体に固結状。砂粒状の火砕物多く混入。礫状コアになる。			3.15	2	1	1	4						
	62.94	1.80	4.75	凝灰質固結シルト	暗茶褐			上部、色調茶褐灰色。全体に固結状。砂粒状の火砕物多く混入。礫状コアになる。			3.45	17	7	6	30						
4	61.94	1.00	5.75	凝灰質凝固シルト	暗灰			全体に砂分含有。砂粒状の火砕物多く混入。少量の礫状コアになる。			4.15	1	2	3	6						
	61.94	1.00	5.75	凝灰質凝固シルト	暗灰			全体に砂分含有。砂粒状の火砕物多く混入。少量の礫状コアになる。			4.45	1	2	3	6						
5	59.89	2.05	7.80	凝灰質シルト	暗灰			粘土化した浮石混入。含水有り。			5.15	12	15	16	43						
	59.89	2.05	7.80	凝灰質シルト	暗灰			粘土化した浮石混入。含水有り。			5.45	12	15	16	43						
6	59.19	0.70	8.50	凝灰質凝固シルト	暗灰			9m付近、色調若干の緑灰色混入。凝固状であり、礫状コアになる。			6.15	5	6	7	18						
	59.19	0.70	8.50	凝灰質凝固シルト	暗灰			9m付近、色調若干の緑灰色混入。凝固状であり、礫状コアになる。			6.45	5	6	7	18						
7	57.94	1.25	9.75	凝灰質シルト	暗灰			全体に不均質。部分的に凝固状。上部、若干の粘性有り。浮石混入多い。			7.15	7	8	10	25						
	57.94	1.25	9.75	凝灰質シルト	暗灰			全体に不均質。部分的に凝固状。上部、若干の粘性有り。浮石混入多い。			7.45	7	8	10	25						
8	53.79	4.15	13.90	凝灰質細砂	暗灰			11m付近、砂分含有多い。			8.15	1	1	1	3						
	53.79	4.15	13.90	凝灰質細砂	暗灰			11m付近、砂分含有多い。			8.45	1	1	1	3						
9	52.74	1.05	14.95	浮石	淡緑灰			12m付近、粘性有り。微細砂混入。			9.15	6	7	10	23						
	52.74	1.05	14.95	浮石	淡緑灰			12m付近、粘性有り。微細砂混入。			9.45	6	7	10	23						
10	51.94	0.80	15.75	凝灰質シルト	暗灰			13.35m付近より、凝固状になる。スコリア・浮石混入多い。			10.15	2	3	3	8						
	51.94	0.80	15.75	凝灰質シルト	暗灰			13.35m付近より、凝固状になる。スコリア・浮石混入多い。			10.45	2	3	3	8						
11	47.99	3.95	19.70	凝灰質シルト	暗灰			全体にシルト分含有。極密に締まっている。浮石粒多く混入する。			11.15	2	3	4	9						
	47.99	3.95	19.70	凝灰質シルト	暗灰			全体にシルト分含有。極密に締まっている。浮石粒多く混入する。			11.45	2	3	4	9						
12	45.29	1.70	21.40	凝灰質シルト	暗灰			粒状の浮石密集層。浮石間に暗緑灰色の固結シルト混入。			12.15	1	2	4	7						
	45.29	1.70	21.40	凝灰質シルト	暗灰			粒状の浮石密集層。浮石間に暗緑灰色の固結シルト混入。			12.45	1	2	4	7						
13	45.09	0.20	21.60	砂礫	暗灰			上部、色調暗茶褐色混り、浮石粒多く混入。粘性有り。			13.15	3	7	18	28						
	45.09	0.20	21.60	砂礫	暗灰			上部、色調暗茶褐色混り、浮石粒多く混入。粘性有り。			13.45	3	7	18	28						
14				凝灰質シルト	暗灰			17m付近より暗灰色。細かい炭化物・浮石多い。			14.15	17	19	14	50						
				凝灰質シルト	暗灰			17m付近より暗灰色。細かい炭化物・浮石多い。			14.35	17	19	14	50						
15				凝灰質シルト	暗灰			18m付近、若干の砂分含有。粘性なし。			15.15	3	4	5	12						
				凝灰質シルト	暗灰			18m付近、若干の砂分含有。粘性なし。			15.45	3	4	5	12						
16				凝灰質シルト	暗灰			19m付近、若干の粘性有り。炭化物混入。			16.15	1	2	2	5						
				凝灰質シルト	暗灰			19m付近、若干の粘性有り。炭化物混入。			16.45	1	2	2	5						
17				凝灰質シルト	暗灰			φ5~20mm位の礫が点在する凝灰質シルト。粒状の浮石混入多い。炭化物・腐植物混入。			17.15	2	2	3	7						
				凝灰質シルト	暗灰			φ5~20mm位の礫が点在する凝灰質シルト。粒状の浮石混入多い。炭化物・腐植物混入。			17.45	2	2	3	7						
18				凝灰質シルト	暗灰			φ10~60mm位の亜角礫主体。			18.15	4	4	4	12						
				凝灰質シルト	暗灰			φ10~60mm位の亜角礫主体。			18.45	4	4	4	12						
19				凝灰質シルト	暗灰			φ5~20cm位の棒状コアになる。コア中に浮石粒点する。小斑状に微細砂混入する。			19.15	3	4	5	12						
				凝灰質シルト	暗灰			φ5~20cm位の棒状コアになる。コア中に浮石粒点する。小斑状に微細砂混入する。			19.45	3	4	5	12						
20				凝灰質シルト	暗灰						20.15	4	6	7	17						
				凝灰質シルト	暗灰						20.45	4	6	7	17						
21				凝灰質シルト	暗灰						21.15	12	14	22	48						
				凝灰質シルト	暗灰						21.45	12	14	22	48						
22				凝灰質シルト	暗灰						22.15	50	50	50	50						
				凝灰質シルト	暗灰						22.24	9	9	9	9						
23				凝灰質シルト	暗灰						23.15	50	50	50	50						
				凝灰質シルト	暗灰						23.25	50	50	50	50						

ボーリング名	No.12		調査位置	横浜市瀬谷区二ツ橋町190番		北緯	0° 0' "	
発注機関	横浜市建築局 庁舎施設課		調査期間	平成14年 2月19日~平成14年 2月20日		東経	0° 0' "	
調査業者名	(株)建設技術コンサルタント 電話 045-453-3241		主任技師	鴨井 裕司		現場代理人	篠原 健二	
孔口標高	T.P+ 67.69m		角	180° 上下 0°		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	
総掘進長	27.21m		地盤勾配	鉛直 90°		使用機種	東邦D0-D100A	
						エンジン	ヤンマーNFD10	
						ハンマー落下用具	トンビ	
						ポンプ	カノ V6	
						ボーリング責任者	高田 誉	

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位/測定日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取		掘進
										深度	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N	値		深度	試験名及び結果	
66.69	1.00	1.00	埋土	暗灰				上部7cmアスファルト舗装。舗装下、ローム質土主体。0.70m付近よりコンクリート塊混入。		1.15	2	2	3	7				
66.94	0.75	1.75	有機質ローム	黒褐				細かい草根混入。転圧されている。		1.45								
64.74	1.20	2.95	ローム	茶褐				上部、凝固状である。全体に不均質。部分的に粘性有り。		2.15	2	3	3	8				
62.94	1.80	4.75	粘土質ローム	茶褐				砂粒状の火砕物混入。上部、粘性有り。不均質であり、部分的に凝固状。4m付近、若干色調暗くなる。		2.45								
61.94	1.00	5.75	凝灰質固結シルト	茶褐灰				上部、色調茶褐灰色。全体に固結。砂粒状の火砕物多く混入。礫状コアになる。		3.15	2	1	1	4				
59.89	2.05	7.80	凝灰質固結シルト	暗灰				全体に砂分含有。砂粒状の火砕物多く混入。少量の礫状コアになる。		3.45	17	7	6	30				
59.19	0.70	8.50	凝灰質シルト	暗灰				粘土化した浮石混入。含水有り。		4.15	1	2	3	6				
57.94	1.25	9.75	凝灰質シルト	暗灰				9m付近、色調若干の緑灰色混入。凝固状であり、礫状コアになる。		4.45								
53.79	4.15	13.90	凝灰質シルト	暗灰				全体に不均質。部分的に凝固状。上部、若干の粘性有り。浮石混入多い。		5.15	12	15	16	43				
52.74	1.05	14.95	凝灰質細砂	暗灰				全体にシルト分含有。極密に締まっている。浮石粒多く混入する。		5.45	5	6	7	18				
51.94	0.80	15.75	浮石	淡緑灰				粒状の浮石密集層。浮石間に暗緑灰色の固結シルト混入。		6.15								
47.99	3.95	19.70	凝灰質シルト	暗灰				上部、色調暗茶褐色混り、浮石粒多く混入。粘性有り。		6.45								
45.29	1.70	21.40	凝灰質シルト	暗灰				17m付近より暗灰色。細かい炭化物・浮石多い。		7.15	2	2	3	7				
45.09	0.20	21.60	砂礫	暗灰				18m付近、若干の砂分含有。粘性なし。		7.45								
40.48	5.61	27.21	泥岩	暗灰				19m付近、若干の粘性有り。炭化物混入。		8.15	1	1	1	3				
								φ5~20mm位の礫が点在する凝灰質シルト。粒状の浮石混入多い。炭化物・腐植物混入。		8.45								
								φ10~60mm位の亜角礫主体。		9.15	6	7	10	23				
								l=5~20cm位の棒状コアになる。コア中に浮石粒点在する。小斑状に微細砂混入する。		9.45								
										10.15	2	3	3	8				
										10.45								
										11.15	2	3	4	9				
										11.45								
										12.15	1	2	4	7				
										12.45								
										13.15	3	7	18	28				
										13.45								
										14.15	17	19	14	50				
										14.35								
										15.15	3	4	5	12				
										15.45								
										16.15	1	2	2	5				
										16.45								
										17.15	2	2	3	7				
										17.45								
										18.15	4	4	4	12				
										18.45								
										19.15	3	4	5	12				
										19.45								
										20.15	4	6	7	17				
										20.45								
										21.15	12	14	22	48				
										21.45								
										22.15	50			50				
										22.24	9			9				
										23.15	50			50				
										23.25				10				
										24.15	50			50				
										24.23	8			8				
										25.15	50			50				
										25.22	7			7				
										26.15	50			50				
										26.23	8			8				
										27.15	50			50				
										27.21	6			6				

ボーリング柱状図

調査名 瀬谷区総合庁舎整備工事に伴う土質調査業務委託(その2)

ボーリングNo. 0000000000

事業・工事名

シートNo. 1-1431-11

ボーリング名	No.11別孔		調査位置	横浜市瀬谷区ニッ橋町190番		北緯	0° 0' "				
発注機関	横浜市建築局 庁舎施設課		調査期間	平成14年 2月12日~平成14年 2月12日		東経	0° 0' "				
調査業者名	(株)建設技術コンサルタント 電話 045-453-3241		主任技師	鴨井 裕司		現代理人	篠原 健二	コ鑑定者	小島 温	ボーリング責任者	高田 誉
孔口標高	T.P+ 67.24m		角	180° 上 下 0°		方	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	
総掘進長	14.90m		使用機種	試錐機 東邦D0-D100A エンジン ヤンマー-NFD10		ハンマー	トンビ		ポンプ	カノ V6	

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験	試料採取		掘進						
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値		深	試験名及び結果		深	試料採取方法	室内試験			
m	m	m	m					事	日	m	0	10	20	30	40	50	60	m	度	番号	方法	日	
1				埋土	暗茶褐			瓦礫・草根・ゴミ混りローム質土主体の埋土。 有機質土混入。 軟質であり、粘着性有り。		1.15	1	38	1	38									
2										1.53	1	1	2	43									
3				黒灰						2.15	1	1	2	43									
4	62.89	4.35	4.35					4m付近、小礫混入する黒灰色の有機質土主体。		2.58	1	1	2	39									
5				ローム	茶褐			全体に若干の粘性有り。 スコリア混入。		3.15	1	1	2	39									
6	60.89	2.00	6.35							3.54	0	1	2	3									
7	60.29	0.60	6.95	凝灰質シルト	褐灰			粘土化した浮石・スコリア混入。 不均質である。		4.15	0	1	2	3									
8				凝灰質凝固シルト	暗灰			上部、若干の粘性有り。 砂粒状の火砕物混入。 色調暗灰均一。凝固状の部分が多い。 8m付近、凝固状・礫状コアになる。		4.45	3	17	3	30									
9										6.05	2	2	2	6									
10	57.34	2.95	9.90	凝灰質凝固シルト	暗灰			9m付近、砂粒状の火砕物混入多い。		6.35													
11	56.49	0.85	10.75	凝灰質シルト	暗灰			色調、青灰色混入。砂分含有する。		7.15	2	4	4	10									
12				凝灰質凝固シルト	暗灰			凝固状の部分が多く、凝固部は礫状コアになる。 全体に不均質であり砂混入する。 12m付近、粘土化した浮石の密集層を挟在する。		7.45	2	4	4	10									
13								12.20m付近より粘着性強くなり、少量の有機物混入。		8.15	4	6	8	18									
14								13m付近より、凝固状の部分が多い。		8.45	4	4	4	12									
15	52.34	4.15	14.90							9.15	4	4	4	12									
16										9.45													
										10.15	2	2	3	7									
										10.45													
										11.15	3	4	4	11									
										11.45													
										12.15	2	4	2	8									
										12.45													
										13.15	3	4	4	11									
										13.45													

